

これまでも、これからも、地域とともに、
JAながみねは総合事業を展開します。

JAながみねは、現在「JAが変わる。農業と地域を変える。」をスローガンに「農業所得の向上」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。

JAは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」であり、農産物の販売や生産資材の供給のほか信用事業、共済事業などの様々な事業を総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域の活性化に取り組んでいます。

また、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、営農指導員の配置や多額の農業関連施設への投資などが実現できています。

JAながみねはこれからも、総合事業を通じて、地域の農業とくらしを守る活動に取り組んでまいります。

当JAにおける自己改革の取り組み

平成30年度に取り組んだこと	令和元年度（平成31年度）に取り組むこと
<p>販売高40億円への挑戦</p> <p>①1円でも多い農業所得の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆営農指導員が全販売農家を訪問し、儲かる営農指導を行いました。【販売農家訪問件数：2,605件】 ◆らくらく出荷など、多様な荷受け方法の検討により、ロットの拡大に努めました。【加入者実績：19名（内らくらく出荷6名）】 ◆周年供給を可能とする重点市場の確保と蔵出しみかんキャンペーン等、消費宣伝の強化によりブランドの確立・維持に努めました。【トップセールス：山椒・柿・みかん】 ◆契約栽培（業務野菜など）、予約相対販売へ取り組みました。【生山椒 15トン・乾燥山椒 78トン】 ◆マレーシアを中心とした輸出関連事業への対応強化に努めました。【輸出実績：しもつみかん 30.4トン】 <p>【とれたて広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆とれたて広場への出荷の勧誘と生産拡大に取り組みました。【新規出荷者：25名】 ◆生産者委託品率の向上に努め、インターネット販売にチャレンジしました。【委託率 56%（2%改善）・JAタウンにてネット販売開始】 ◆移動販売車を導入し、新たな販売方法にチャレンジしました。【11月15日より運行開始・販売実績：242万円（利用客数1,798名）】 <p>②1円でも高い販売価格の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆個性化商材を推進し、高品質化を図りました。【マルチ：361a分供給・フィガロン652本供】 ◆選果データーの活用により、高品質生産のできる園地を指定し、個性化商材の増加に努めました。 ◆次世代選果機、冷蔵施設の有効利用に努めました。【個性化登録園（みかん）53園地 537a】 ◆機能性表示食品（みかん）に認可申請し、使用方法について検討しました。【消費者庁へ許可申請中】 	<p>「ながみねブランド」の確立と農業所得向上のため、1円でも高い販売価格の実現を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地区担当の営農相談員を配置し、出向く体制の強化により相談機能の充実を図り、儲かる営農指導を行います。 ②各部会と連携し共販拡大を図り、有利販売に努めます。 ③「下津蔵出しみかんシステム」の日本農業遺産の認定を受け、蔵出しみかんキャンペーンへの有効活用を行うとともに、消費宣伝の強化により、ながみね全体のブランドの確立・維持に努めます。 ④重点卸売市場の選定により、継続的な売り場の確保や予約相対取引の拡充に努めます。 ⑤個性化商材を拡大し、高品質化を図るとともに、各出荷物の厳選出荷に努めます。 ⑥マレーシアを中心とした輸出関連事業への対応強化に努めます。 ⑦機能性表示食品（みかん）の認定を受け、使用方法について検討します。 <p>【とれたて広場】</p> <p>活気ある魅力的な店舗づくりにより、地域の活性化と農業所得の向上を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新規出荷者の勧誘と既存出荷者の栽培面積拡大を図り、地場産率の向上に努めます。 ②とれたて広場を核とした直販事業を強化し、多様な販売チャネルにより取扱高拡大に努めます。 ③各種イベントを通じ生産者と消費者の交流を深め、地域活性化の拠点を目指します。 ④移動販売車を通じ買い物支援に取り組みます。
<p>生産基盤の維持に向けた取り組み</p> <p>①第4次農業振興計画の策定に取り組みました。【第4次農業振興計画「かしの里Ⅳ」を策定】</p> <p>②担い手の育成・確保を目的とし、就農支援講座（トレーニングフ</p>	<p>第4次農業振興計画「かしの里Ⅳ」の実践および検証により、1円でも多い農業所得の実現を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①行政やJA独自補助事業を活用し、省力化や園地整備等の生

平成30年度に取り組んだこと	令和元年度（平成31年度）に取り組むこと
<p>アーム・農業塾）を開催しました。【受講者：トレーニングファーム 5名・農業塾 25名】</p> <p>③産地の維持および農地の保全を目的に行政と連携した農地中間管理事業および、鳥獣害対策の取り組みを行いました。【農地貸借契約件数：82件中33件成立 11ha・鳥獣害アドバイザー取得：1名】</p> <p>④行政やJA独自補助事業を活用し、生産基盤の整備と省力化、生産資材のコスト低減に取り組みました。【改植：141園地 13ha・整備事業：88園地 19ha】</p>	<p>産基盤の維持対策に取り組みます。</p> <p>②日本農業遺産認定産地として、ふさわしい産地のあり方、維持・発展方法等について、行政と連携し研究・検討します。</p> <p>③産地の維持および農地の保全を目的に、優秀な品種系統への改植・新植を勧めるとともに農地中間管理事業を活用した農地の流動化に取り組みます。</p> <p>④担い手の育成・確保を目的とした、就農支援講座（トレーニングファーム・農業塾等）に取り組みます。</p> <p>⑤地域の実態に応じた労働力確保対策として、農援隊の充実や無料職業紹介所の研究に取り組みます。</p>
<p>生産コスト低減への取り組み</p> <p>①ながみね自家ブレンド粒状配合のラインナップ拡大のため、施肥試験を実施し、新商品の開発に取り組みました。【新商品：ながみね粒状配合 特号・1号・2号】</p> <p>②大型規格農薬やコスト低減農薬の提案と、農薬価格対策を実施しました。【特別価格 44品目設定・農薬対策実績：ランク奨励926万円・品目奨励 1,128万円】</p> <p>③予約購買を基本とし、営農サポートシステムを活用し、各営農センターを拠点とした予約率の向上に取り組みました。【予約率実績：肥料 81.8%・農薬 76.9%】</p>	<p>安全な資材を安定供給するとともに、生産資材コストの低減に取り組み農業所得の向上に努めます。</p> <p>①仕入交渉・品目集約・配送の合理化等により、更なる生産資材コスト低減に努めます。</p> <p>②大型規格農薬やコスト低減農薬の提案と、農薬価格対策を実施します。</p> <p>③出向く体制を強化し、提案活動や肥料・農薬の予約率の向上に努めます。</p> <p>④新商品「ながみね粒状配合特号・1号・2号」や地区配合の普及拡大に努めます。また、省力化を目的とした「一発肥料（果樹用）」の研究・開発に取り組みます。</p>
<p>地域の活性化に向けた取り組み</p> <p>①農産物直売所クーポン券つき定期貯金や割引特典付きJAカードの実施により、生産者と地域を結ぶ活動に取り組みました。</p> <p>②地元の農産物を用いた食農教育活動や農業への理解を深めるため、管内小学校へ出前料理学習や農産物の収穫体験を実施するとともに、あぐりキッズスクールや親子DEあぐりによる植え付けから収穫などの体験を通じて食・農の大切さの理解促進に取り組みました。</p> <p>③シニア男性向け体験及び料理講座や1歩2歩散歩ウォークなどの活性化を図るとともに、親子で参加のちゃぐりんフェスタや魅力ある女性会活動の展開により新たなJAファンづくりに取り組みました。</p> <p>④支店協同活動の実践により、地域への貢献や地域との共生に取り組みました。</p> <p>⑤とれたて広場でのさまざまなイベントを通じ、生産者と消費者の交流を深めるとともにブロック毎のJAまつりなどの開催により交流の場づくりに取り組みました。</p>	<p>①農産物直売所クーポン券つき定期貯金や割引特典付きJAカードの実施により、出荷者と地域を結ぶJAならではの活動に取り組みます。</p> <p>②平成30年度に引き続き、食農教育活動・地域貢献活動等を実施し、JAファンづくりに取り組みます。</p>
<p>農業と地域の活性化を支える健全な経営の確立に向けた取り組み</p>	<p>①経営基盤の強化に向け、店舗体制の効率化に取り組みます。</p> <p>②内部統制システム基本方針に基づき、内部統制の運用に取り組みます。</p> <p>③働き方改革に基づく労働環境の整備に取り組みます。</p> <p>④訪問活動や窓口相談機能を充実し、総合的なサービス提案を行い組合員・利用者の満足度の向上に取り組みます。</p>